

センター月だより

12月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

・声かけ活動

| | 多治見 | 瑞浪 | 土岐 | 合計 |
|-------|-----|-----|-----|------|
| 指導件数 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| 声かけ件数 | 729 | 215 | 206 | 1150 |
| 参加者数 | 62 | 35 | 37 | 134 |

(指導日誌より抜粋)

瑞浪地区

- ・小学校の通学路と中学校校門の二手に別れ、登校時の生徒にあいさつ。多くの声かけができた。(12/9 釜戸 G)
- ・12月に入り寒い日が続くようになったためか、19時すぎには駅に高校生の姿はない。駅前のベンチ周辺はゴミもなくきれいだった。(12/9 日吉 I)
- ・ゲンキー稲津店の裏にお菓子などのゴミが散らかっていた。小中高生と思われるが、巡回時に姿はない。店の方は散らかっていることを承知してみえた。(12/12 稲津 F)
- ・氷点下1°の中、中学校校門で生徒会、校長先生、教頭先生と一緒にあいさつ運動。寒いせいか車で送ってもらう生徒がかなりいた。(昔とは違いますネ)走ってくれば体も温かくなりますが、これからますます寒くなりますが、そんな時こそ大きな声で「あいさつ」。(12/13 陶 E)
- ・日曜日の夜、寒いいためか学生には会わなかった。相変わらずゴミ、吸い殻が多い。(12/22 瑞浪 B)

土岐地区

- ・駅のトイレ前にバイクが置いてあった。誰もいなかったなので、再度巡回すると無くなっていた。駅の階段に、高校生らしき1人を含む男性5人が座り込んでいた。(12/3 土岐津 1)
- ・「おはよう、寒いね。」との声掛けに「おはようございます。」と返してくれた。寒いせいかいつもより元気がなかったのが気になった。(12/3 鶴里 4)
- ・学生、一般の方とも、声かけに明るく応えてくれてありがたい。携帯やスマホの操作をしながら歩く人がいて、少し危ないと思った。駅ベルマートの方からは最近特に問題ないとのこと。(12/4 特 A)
- ・駅で駐輪場から来た土岐商の男子生徒たちが、気持ちよいあいさつをしてくれた。(12/9 泉 8)
- ・ひときわ寒く、路上では子供たちに会わなかった。児童館では小学生に声をかけた。(12/13 下石 3)
- ・駅前を自転車で通りがかった少年がいた。雨だったので気をつけて運転することと、駅前は歩行者が多いので引いて歩くように伝えた。(12/18 特 B)
- ・小学生下校時に声かけ。分団と一緒に下校。その後地域を見回った。特に問題なし。(12/24 曾木 5)

多治見地区

- ・今月から夕方の小中学校の下校時に合わせて声かけ活動を行なった。小学生が戸惑いながらも元気のいいあいさつをしてくれた。(12/3 小泉 5)

- ・自転車の男子小学生がヘルメット無しだったので注意した。小中学校が少し早帰りで、いつもより遊んでいる姿を多く見た。(12/6 池田 6)
- ・無灯火自転車の男子高校生に注意をすると、素直に「はい」と返事が返ってきた。(12/10 精華 2)
- ・寒いせいか駅構内や駅北口のトイレの周りに座り込んでいる子はいなかった。12月とあって人出も多く、高校生や大勢の人達にあいさつ・声かけが出来、寒い中でもホットした。(12/10 南姫 9)
- ・平和中の下校の見守りを行なった。あいさつをかわしながら笑顔で下校していた。(12/11 昭和 4)
- ・学校帰りの高校生に声かけ。元気なあいさつが返ってきた。駅北のトイレ前は、寒さのせいか誰もいなかった。(12/14 共栄 3)
- ・児童館の室内で多くの子どもが遊んでいた。館の人の話では問題は起きていないとのこと。公民館で男子4人が棒でチャンバラをしていたので、棒だけは片付ける様に注意した。(12/14 北栄 11)
- ・集団下校の日でしたが、雨が降っていたのでバラバラになって歩いていました。(12/18 市之倉 7)
- ・根本駅と周辺の店舗の職員・店員さんに声をかけて巡回。特別問題はなさそうです。(12/19 根本 10)
- ・自転車の男子高校生が、並走していたので注意した。小中高生ともにあいさつが返ってきてほほえましい。(12/19 養正 1)
- ・寒い日だったので生徒たちは少なかったが、あいさつをしっかりと返してくれる事には大変感心した。交番に聞くと、最近は寒いせいか集まってくる子供たちは少ないとの事だった。(12/19 脇之島 12)

センターから

- ・明けまして おめでとうございます。今年は午年ですね。駿馬のように輝け！若者！
- ・瑞浪地区I班(日吉)の指導日誌で、班長の小栗さんにお知らせ頂いたので紹介します。
11月24日、第2回瑞浪市青少年育成会議で市内3校の高校生と語る会に参加した。出席した高校生たちはしっかりした考えを持っていて、頼もしく感じた。一部の高校生が、ふらついた言動をしている状況にも厳しい批判の声を出している。学校や社会全体にきちんと対応していく姿勢を作り上げていきたいものである。
- ・12月12日、この日は多治見北高校の生徒10名と駅前啓発活動を行なった。寒い中、配っている女子生徒が、「なかなか受け取ってくれなくて、『マスクです。』と言うと受け取ってくれます。それでも、使う時に挟み込んであるチラシの中身を、読んでくれればいいですね。」と言ってくれた。前向きな考えがうれしかった。

大人たちが本来持っているはずの優しさ



私はすべての大人を一方向的に敵とし憎むことで、つねに子どもたちと同じ目線で生きようとしてきました。しかしそれは果たして正しかったのでしょうか。

今の日本には、心に余裕のない大人がたくさんいます。余裕がないからこそ、より弱い立場である子どもを追い詰めてしまう。もちろん、本当にひどい大人もたくさんいます。でもそれ以上に多くの大人が、自分の過去に苦しみ、悩み、なんとか罪を償おうと必死になっている。そういう大人たちが本来持っているはずの優しさも、もっと子供たちに伝えていくべきだったんじゃないかと、今では悔やんでいます。

水谷 修(著)「夜回り先生のねがい」より